

令和3年度

事業報告書

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

法人組織の運営

1 理事会及び評議員会の決議事項等

(1) 理事会

第1回理事会(令和3年4月1日書面決議)

・提案事項

議案第1号 専務理事の選定について

議案第2号 事務局長の選任について

第2回理事会

・日時 令和3年5月25日(火)午後2時

・場所 プラザおでって

・報告 令和3年度第1回代表理事の職務執行状況報告について

令和3年度第1回業務執行理事の業務執行状況報告について

・議事 議案第1号 令和2年度事業報告及び収支決算の承認について

議案第2号 任期満了に伴う理事の選任案について

議案第3号 任期満了に伴う監事の選任案について

議案第4号 任期満了に伴う評議員の選任案について

議案第5号 事業年度経過後の行政庁(岩手県)への提出書類について

議案第6号 定時評議員会の招集について

第3回理事会(令和3年6月11日書面決議)

・提案事項

議案第1号 理事長の選定について

議案第2号 専務理事の選定について

議案第3号 事務局長の選任について

第4回理事会(令和3年7月16日書面決議)

・提案事項

議案第1号 理事の補欠選任案について

議案第2号 決議の省略の方法による評議員会の議題(決議の目的である事項)について

第5回理事会(令和3年11月10日書面決議)

・提案事項

議案第1号 一部事業の廃止について

議案第2号 令和3年度補正予算について

第6回理事会

・日時 令和4年3月23日(水)午後1時30分

・場所 プラザおでって

・報告 第2回代表理事の職務執行状況報告について

第2回業務執行理事の業務執行状況報告について

就業規則等の改正について

・議事 議案第1号 令和3年度事業計画及び当初予算について

(2) 評議員会

定時評議員会

・日時 令和3年6月10日(木)午後3時30分

・場所 プラザおでって

- ・議事 議案第1号 令和2年度事業報告及び収支決算の承認について
 - 議案第2号 任期満了に伴う理事の選任について
 - 議案第3号 任期満了に伴う監事の選任について
 - 議案第4号 任期満了に伴う評議員の選任について
- 第2回評議員会(令和3年7月26日付書面決議)
- ・提案事項
 - 議案第1号 理事の補欠選任について

2 役員等

(1) 理事及び監事

理事及び監事の異動は次のとおりである。(令和3年6月10日理事・監事改選)

役職名	氏名	就任年月日	辞任年月日	団体名・役職名
理事長	谷村 邦久	R3.6.10		盛岡商工会議所会頭
専務理事	石橋 浩幸	R3.6.10		(公財)盛岡観光コンベンション協会
理事	阿部 啓行	R3.6.10		(株)北日本銀行総務部長
〃	太田代 洋一郎	R3.6.10		岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合盛岡支部長
〃	大森 織江	R3.6.10		(株)岩手日報社広告事業局事業部長
〃	菊地 義基	R3.6.10		(株)愛真館・(株)アスター取締役副社長
〃	長沼 淳	R3.6.10		小岩井農牧(株)観光部長
〃	本郷 誠	R3.7.16		(株)JTB 盛岡支店支店長
〃	山口 聡	R3.6.10		(公社)岩手県バス協会副会長
〃	渡邊 佳隆	R3.7.16		東日本旅客鉄道(株)盛岡支社営業部長
監事	小野寺 正浩	R3.6.10		(株)東北銀行常務取締役
〃	藤澤 透	R3.6.10		盛岡信用金庫専務理事
退任理事	朝岡 正貴	R3.6.10	R3.7.15	東日本旅客鉄道(株)盛岡支社前営業部長
	有賀 義信	R3.6.10	R3.7.15	(株)JTB 盛岡支店前支店長

理事の任期：令和3年6月10日～令和5年度定時評議員会まで

監事の任期：令和3年6月10日～令和7年度定時評議員会まで

(2) 評議員

評議員の異動は次のとおりである。(令和3年6月10日評議員改選)

役職名	氏名	就任年月日	辞任年月日	団体名・役職名
評議員	石川 健正	R3.6.10		(株)岩手銀行取締役常務執行役員
〃	大野 尚彦	R3.6.10		(一社)盛岡地区タクシー協会理事長
〃	佐々木 東	R3.6.10		(公財)盛岡市文化振興事業団専務理事
〃	高橋 雅彦	R3.6.10		(公財)岩手県観光協会専務理事兼事務局長
〃	畑山 篤	R3.6.10		(株)テレビ岩手常務取締役
〃	平井 滋	R3.6.10		岩手県酒造組合理事
〃	三玉 二郎	R3.6.10		近畿日本ツーリスト(株)盛岡支店支店長
〃	村上 振一郎	R3.6.10		盛岡ホテル協議会会長
〃	吉田 莞爾	R3.6.10		盛岡市商店街連合会会長

任期：令和3年6月10日～令和7年度定時評議員会まで

3 監査

令和3年5月19日に令和2年度事業報告及び収支決算について、監事による監査が行われ、その結果、適正である旨認められた。

事業概要

公1：観光情報の発信及び国内外観光客の誘致促進並びに受入体制の整備など観光振興に関する事業

1 広報宣伝事業

(1) 広告宣伝事業

- ・新聞特集広告等にて祭りイベントの広報を行う予定であったが、新型コロナウイルスによるイベント中止を受け見合わせた。
- ・原稿校正段階にあったチャグチャグ馬コ新聞広告掲載は、同事業の祭典中止を受け、取りやめた。

(2) インターネット活用事業

- ・協会ホームページを全ページから広告バナーが閲覧できる仕様など、時流に適合したデザインにリニューアルし、新着情報、各観光事業のバナー掲載、コンベンション情報をはじめ、プラザおでって、もりおか啄木・賢治青春館、もりおか歴史文化館の各事業、及び賛助会員情報等について随時更新した。
- ・公式ツイッター、公式フェイスブックにより随時観光文化イベント情報を発信した。

インターネット 総アクセス数(訪問回数)	令和3年度			令和2年度	令和元年度 (平成31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
協会公式ウェブサイト hellomorioka.jp (件)	88,051	▲23,744	▲21%	111,795	158,774

2 観光案内事業

(1) 観光案内施設整備事業

- ・岩山スカイハイツを活用して観光案内写真や市内鳥瞰図等を展示し、岩山自然公園地区を訪れる観光客に市内周遊の観光宣伝に努めた。

項目	令和3年度			令和2年度	令和元年度 (平成31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
展望デッキ利用者数(人)	29,582	▲12,901	▲30%	42,483	43,325

(2) 観光ボランティア事業

- ・盛岡ふるさとガイド(観光ボランティアガイド)を活用し、修学旅行生及び観光客等に盛岡の街の魅力を紹介するとともにコロナ禍における学校、旅行代理店、観光客への安全対策としてトラベルイヤホンを使用していることを引き続き宣伝して、利用促進に努めた。

項 目	令和 3 年度			令和 2 年度	令和元年度 (平成 31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
ガイド案内件数 (件)	39	11	39 %	28	102
案内者数 (人)	344	10	3 %	334	2,107
ガイド登録者数 (人)	33	▲8	▲20 %	41	43

3 観光客誘致促進事業

(1) 観光客誘致キャンペーン事業

- ・JR各社による東北デスティネーションキャンペーンが4/1～9/30まで開催され、「啄木・賢治もりおか散歩」と題して盛岡ふるさとガイドを活用した無料ツアーを実施した。期間途中、新型コロナウイルスの感染防止のために一時中断したが、全国からのお客様 30 名を案内した。
- ・昨年延期となり令和 3 年 6 月に予定された「東北絆まつり 2021 山形」は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止措置によりセレモニーのみの開催となった。

(2) 教育旅行誘致事業

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止状況下、オンラインで開催された岩手県観光協会等が実施する教育旅行誘致説明会において、実物パンフレット等を提供し、オンライン参加により観光PRを行った。
令和 3 年 7 月 28 日 岩手県側 18 団体、バイヤー 8 社 12 名 (北海道)
令和 3 年 11 月 18 日 岩手県側 18 団体、バイヤー 3 社 5 名 (中部, 関西)
令和 4 年 2 月 21 日 岩手県側 12 団体、バイヤー 9 社 10 名 (東北, 首都圏, 関西)
- ・盛岡市内を訪れた修学旅行生等に盛岡さんさ踊り振興協議会会員団体の協力を得て、「盛岡さんさ踊り体験学習」を実施し、郷土芸能の魅力を伝えるとともに盛岡への再訪を呼びかけた。なお、手指消毒等コロナ対策を伴い実施した。

項 目	令和 3 年度			令和 2 年度	令和元年度 (平成 31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
件数 (件)	7	2	40%	5	5
参加者 (人)	671	311	86%	360	187

(3) 外国人観光客誘致受入事業

- ・観光文化情報プラザ(おでって 2 階)およびいわて・盛岡広域観光センター(盛岡駅構内南口)にて、外国人観光客の W i - F i (無料公衆無線 LAN 環境) ニーズに応える光ステーション接続システムを継続設置し観光情報を提供した。

(4) その他観光客誘致促進事業

ア 冬のイベント振興事業

- ・もりおか雪あかり実行委員会等と連携し、冬季イベントを活用した誘客事業を展開してきたが、もりおか雪あかり 2022 として盛岡城跡公園前庭(岩手公園地下駐車場人工地盤)～もりおか歴史文化館前広場を会場に LED を加えた雪あかり・イルミネーションを 3 日間にわたり試行展示し賑わいの創出に努めた。

もりおか雪あかり

項 目	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度 (平成 31)
	実績	実績	実績
メイン会場来場者 約 (人)	1,200	—	25,000
メイン会場雪あかり 設置数 約 (個)	1,050	—	15,000
市内会場数 (箇所)	4	—	12

イ スキー客の誘客事業

- ・スキー客の誘客を図るため、岩手県、いわてウィンターリゾート協議会と連携し誘客活動を行った。

ウ その他観光振興事業

- ・「盛岡・矢巾・紫波広域観光推進協議会」、「盛岡・八幡平広域観光推進協議会」、「はたるを守る市民の会」及び「ゆかたのまち盛岡推進事業実行委員会」等と連携し誘客活動を展開した。また、盛岡らしい伝統文化を P R し観光振興を図るため「盛岡芸妓お座敷体験講座」を 10 月、12 月の各土曜日、料亭を会場に実施した (参加者計 42 人)。
- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大状況下、市内の事業者を募り、おでって広場において「おでってお弁当マルシェ」とし、広場スペースおよびテントを無償にて貸し出すことにより、お弁当のテイクアウト商品販売により、食堂営業自粛により困窮する飲食店の救済と観光客および市民の利便促進につとめた。
期間 令和 3 年 6 月 1 日～30 日のうち週日 (21 日間) 販売数 1,207 個

4 まつり行事振興事業

(1) まつり行事振興事業

- ・各種まつり、イベントに支援助成を行うとともに行事の宣伝普及に努めた。盛岡さんさ踊りは、実行委員会構成団体および盛岡さんさ踊り振興協議会事務局として、東北ディスティネーションキャンペーン特別企画「つなぎでつなぐ、盛岡さんさ踊り」(つなぎ温泉)への団体派遣協力を行った (鑑賞者数 14,120 名)。
- ・新型コロナウイルスによる盛岡八幡宮例大祭中止に伴い盛岡山車運行も中止になったが、2 回の山車音頭上げショー、2 ヶ月間の写真展など、形を変えて山車文化の宣伝や啓蒙活動を実施した。10 月 30 日には限定山車 2 台の特別運行に実行委員会構成団体として参加した。

山車運行参加者

項 目	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度 (平成 31)
	実績	実績	実績
参加者 (人)	300 (但し実行委)	—	652

主なまつり行事の開催状況

No.	行 事 名	時 期	場 所	内 容
1	第 32 回大盛岡神輿祭り	延期・未定	(大通周辺)	中止
2	盛岡さつき祭り	6月12日～14日	盛岡市中央公民館講堂	中止
3	チャグチャグ馬コ	6月12日	鬼越蒼前神社～市内・盛岡八幡宮	中止
4	第45回北上川ゴムボート川下り大会	7月25日	北上川(四十四田ダム～南大橋)	中止
5	第43回盛岡さんさ踊り	8月1日～8月4日	市内中央通	中止
6	盛岡七夕まつり	8月4日～8月7日	ホットライン肴町	中止
7	盛岡舟っこ流し	8月16日	明治橋上流	中止
8	盛岡秋まつり	9月14日～9月16日	市内一円	中止
9	盛岡山車特別運行	10月31日	市内一円	盛岡山車実行委員会として特別運行に協力した。
10	なつかしの昭和～盛岡山車と町並み回顧展～	10月1日～11月30日	プラザおでつて2階ロビー	盛岡山車推進会の協力を得て昭和の山車等の写真パネル70点を展示した。 観覧者数約4,000人
11	もりおか雪あかり2022	2月4日～2月6日	盛岡歴史文化館前広場	LEDと雪あかりを設置し試行を兼ねて賑わい創出に努めた。

12	第 55 回 いわて雪まつり	2 月上旬	岩手高原スノー パーク他	中止
----	-------------------	-------	-----------------	----

(2) その他

- ・コロナ禍で「盛岡さんさ踊りパレード」「盛岡秋まつり山車」行事が 2 年連続で中止となり、盛岡さんさ踊りや盛岡山車を体験する機会が失われている次代の子どもたちを対象に、「文化をつなぐ岩手・盛岡実行委員会」と共催し文化庁委託事業「子供たちのための伝統文化の体験機会回復」を実施した。

No.	行事名	時 期	場 所	内 容
1	さんさ踊り 親子体験	10 月 24 日(日)	おでって ホール	親子計 27 人の参加。盛岡さんさ踊り清流 6 人により七夕くずしを体験。
2	山車太鼓親 子教室	①10 月 16 日(土) ②10 月 17 日(日) ③11 月 20 日(土) ④11 月 21 日(日)	おでって ホール	各回親子計 33 人の参加。盛岡山車推進会 7 人により小太鼓打ち(歩き太鼓、止まり太鼓など)を習得。
3	子どもたち の和の文化 祭(山車発 表会)	12 月 19 日(日)	盛岡市中央 公民館	上記 2 山車太鼓親子教室の参加者のうち親子 28 人による山車小太鼓打ちの発表会。観客 120 人。

5 ブランド振興事業

(1)文化イベント振興事業

盛岡市及び盛岡広域市町村の景観・人物・特産品等の素材を活かして、映画・テレビの映像化を推進するため盛岡広域フィルムコミッションの事務局としてロケ誘致及びロケ支援活動を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、映画、TV の支援件数は伸び悩んだが、年度後半には支援問合せが増加した。

- ・映画「658km 陽子の旅」令和 4 年公開予定
- ・テレビ「#居酒屋新幹線盛岡編」MBS 系列 TBS チャンネル銀河
「日本に春が来た」NHK・「文豪カプリチオ(銀河鉄道の夜)」
- ・CM トヨタ RAV4・和銅産業・うちむら家具

項 目	令和 3 年度		令和 2 年度		令和元年度 (平成 31)
	実績	前年度比較増 減	実績	実績	実績
ロケ 支援件数 (件)	33 (内訳): TV 10 CM 9 映画 8 WEB 雑誌等 6	▲17 ▲34.0%	50 (内訳): TV 17 CM 3 映画 8 雑誌等 22	61 (内訳): TV 26 CM 0 映画 16 雑誌等 19	

(2) その他ブランド振興事業

盛岡ブランド市民推進委員会の構成員として、盛岡ブランドの開発やイメージアップ等の支援を行った。全国観光土産品連盟が実施する観光土産品推奨・審査制度を広く周知し、制度の活用を促すことにより優良な土産品生産の振興を図った。

6 観光資源活用事業

(1) 東京事務所連携事業

盛岡市東京事務所及び東京ふるさと会等と連携し、首都圏での盛岡広域の観光情報及び物産をPRし観光・コンベンションの振興を図った。

7 玉山地域観光振興事業

(1) 玉山地域観光振興事業

「第 56 回姫神山やま開き」は、登山口でのやま開き行事は開催せず、関係者のみで駒形神社での安全祈願を行い、一年の安全登山を祈願した。

「啄木学級文の京講座^{ふみ みやこ}」を行い、石川啄木の作品に親しみ造詣を深めるとともに、盛岡広域の住民に対し玉山地域の観光資源の宣伝に努めた。

No.	行 事 名	開催日・会場	参加者数	摘 要
1	第 55 回姫神山やま開き	5 月 17 日	13 人	中止。登山口での開山イベントは実施せず規模縮小して盛岡観光コンベンション協会、盛岡市など関係者のみによる安全祈願祭のみを駒形神社にて執り行った。
2	啄木学級故郷講座	中止		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
3	啄木学級文の京講座	7 月 9 日	76 人	主催：(公財)盛岡観光コンベンション協会 共催：(公財)盛岡市文化振興事業団・石川啄木記念館 後援：盛岡市 ○講演 講師：歌人 松平盟子 氏 「晶子さんは姉のような気がする ～啄木日記の中の与謝野晶子～」 ○対談 松平盟子氏，石川啄木記念館 森義真館長 「啄木が愛した女性たち ～節子、晶子、智恵子、小奴～」

8 観光客受入体制整備事業

(1) いわて・盛岡広域観光センター運営事業

盛岡駅構内南口において、日本政府観光局 (JNTO) の認定を受けたビジット・ジャパン案内所「いわて・盛岡広域観光センター」を運営。邦人・外国人観光客に盛岡及び周辺地域と岩手県内、北東北の観光情報を提供し、観光相談、交通案内、宿泊手配等総合的な案内を行った。

前年から続く新型コロナウイルス感染症の影響で来訪者数は低迷したものの、ワクチン接種後の行動制限緩和により前年度比 2,239 人増という結果となった。

観光案内状況

項 目	令和 3 年度			令和 2 年度	令和元年度 (平成 31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
センター来訪者数 (人)	15,130	2,239	17.4%	12,891	37,645
うち外国人観光客数 (人)	314	▲87	▲21.7%	401	6,396
問合せ件数 (件)	11,256	1,637	17%	9,619	26,844
宿泊送客数 (件)	846	304	56.1%	542	1,086

9 おもてなし観光推進事業

(1) 被災地復興支援誘客事業

- ・いわて・盛岡広域観光センターおよびプラザおでって観光文化情報プラザにおいて、沿岸被災地等の観光情報を提供するとともに、これまで収集した復興支援に関する情報や県内主要観光イベント等の情報を観光文化情報プラザ等で情報提供を行い、盛岡地域及び沿岸地域への誘客を促進することにより復興支援を行った。
- ・岩手県復興ポスター展
東日本大震災発生から 10 年を機に岩手県が昨年企画した「岩手県復興ポスター展」に今年度も賛同し、引き続き、プラザおでって 2 階ロビーにポスター 16 点を展示した。
期間 令和 4 年 2 月 21 日（月）～ 3 月 18 日（金）

公2：国内外からのコンベンションの誘致・支援及び情報収集等コンベンション振興に関する事業

1 コンベンション誘致支援事業

(1) I M E 展事業

新型コロナウイルスの影響によりオンラインで2日間開催された日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)と日本政府観光局(JNTO)が共催する第31回国際MICEエキスポ・オンライン(IME2022 Online)へセラーとして出展し、盛岡MICE助成金など各種助成制度、支援プログラム、会場施設等の開催に必要な情報提供及び、本県観光資源(観光・物産・食)など当地の魅力をPRし、具体的な商談を行う予定だったが、今回は出展しないこととした。

(2) コンベンション誘致対策事業

- ・各学会・大会事務局等にオンライン、メール、電話などにより会場施設、盛岡MICE助成金等の助成・支援内容を説明するとともに、岩手県内へのアフターコンベンションプランを提案するなど誘致活動を行った。
- ・地方都市コンベンション関連団体((公財)岐阜観光コンベンション協会,(公社)和歌山県観光連盟,(公財)新潟観光コンベンション協会,(公社)松本観光コンベンション協会,(公社)びわこビクターズビューロー,(公財)高松観光コンベンションビューロー),(公財)郡山コンベンションビューロー)と合同で行った誘致活動事業では、日本地球惑星科学連合及び連合大会ホームページへ広告を掲載し、国内外の参加者や関係者へ広くPRした他、新型コロナウイルスの感染対策を徹底して都内での合同ワークショップに参加し、支援内容を紹介するプレゼンテーションや具体的な商談、今後の誘致活動に必要な情報収集を行った。

「日本地球惑星科学連合 2021年大会」

期 日：令和3年5月30日(月)～6月1日(火)

会 場：パシフィコ横浜(現地開催)

期 日：令和3年6月3日(木)～6日(日)

形 式：オンライン開催

「地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップ」

期 日：令和3年12月20日(月)

会 場：ホテルグランドアーク半蔵門(東京都)

出席者：来客(コンベンション主催者)30団体

- ・地元主催者のMICE開催意欲向上を目的に、地元大学研究者や関係団体職員を招待し、助成・支援制度などの開催に必要な情報提供を行うとともに、関連業者が一堂に会し、コンベンション用サービスの展示・商談を行うコンベンションフェアを開催した。新型コロナウイルス禍における現地開催促進の為、出展者ブースの間隔を十分にとるなどの三密回避、衛生用品・機器などを実用展示した見学・体験できる会場仕様とし、開催に必要な情報提供を行った。

「岩手・もりおかコンベンションフェア」

期 日：令和4年1月27日(木)

会 場：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

(出展者：18社、来場者12団体・19人)

- ・コンベンション視察経費(交通費・宿泊費)補助制度

盛岡での開催誘致促進のため、MICE主催者が来訪し、会場施設や宿泊施設、交通の利便性などを実際に視察する経費の一部を補助した。会議室や懇親会会場などの視察のほか、盛岡の飲食店や観光などの都市の魅力をPRする誘致活動を実施

した。

実施件数：1 件

開催日：令和 3 年 5 月 18 日～19 日

視察者：2 名

- ・コンベンション主催者宛誘致促進 DM 発送の実施

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、首都圏でコンベンション主催者を訪問しての誘致促進活動ができないため、DM 発送により主催者に情報提供を行った。また、当協会オリジナルグッズ「もりおか観光クリアファイル」を進呈し岩手・盛岡をPRした。

(3) コンベンション支援事業

- ・コンベンションバッグの提供

コンベンションバッグを会議資料入れ用として主催者へ廉価で提供し、大会参加者の利用に供した。

- ・盛岡の飲食店と観光施設ガイドマップ「城下町もりおか おいしいマップ」の提供
大会参加者の観光促進を図るため、当協会で作製した店舗利用での特典、文化観光施設割引券を掲載した「城下町もりおか おいしいマップ」を提供した。

(4) サポーター派遣育成事業

主催者の負担軽減や大会のスムーズな運営をサポートする目的で各種学会及び大会等の受付や事務局補助、観光案内等の業務に派遣する登録サポーターの育成の為、活動の参考になる研修会などの情報提供を行った。

また、「MTCA サポーターの会」の活動に対して助成金を交付し、サポーターの資質向上のために行う研修会等の事業の助成を行った。

令和 3 年度サポーター登録者数：56 人

コンベンション支援状況

項 目	令和 3 年度			令和 2 年度	令和元年度 (平成 31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
支援件数 (件)	15	2	15.4%	13	89
支援コンベンションの参加者数(人)	5,459	3,729	215.5%	1,730	52,092
支援内容					
コンベンションバック提供(袋)	570	470	470.0%	100	10,297
盛岡広域観光ガイド提供 (部)	1,960	1,572	405.0%	388	16,340
サポーター派遣 (件)	0	▲2	皆減	2	14
〃 (延人)	0	▲28	皆減	28	136
歓迎ポスター作製配付 (件)	1	1	皆増	0	10
盛岡駅前広告塔看板製作設置(件)	0	0	—	0	3

2 企画開発情報収集事業

(1) 各種情報収集連絡会参加事業

- ・岩手大学、岩手医科大学等の地元大学及びコンベンション施設等の関係団体・機関約 700 件を対象に、開催が予定される会議、大会等についてのアンケート調査を実施し、誘致・支援に活用するとともに、収集した情報を一覧表化してホームページ等により公開した。

金沢市、静岡市、高松市、熊本市、盛岡市のコンベンション推進団体による情報交

換会(5CB会議)を令和4年2月24日にオンラインで開催し、各都市の開催実績をもとに、今後お互いの都市で開催の可能性のあるコンベンションについて情報交換を行った。

3 盛岡 MICE 助成金交付事業

「盛岡 MICE 助成金」の申請があった MICE 主催者へ助成金を交付し、地域活性化を図った。申請 14 団体中(辞退;12 団体) 2 団体(参加者数 1,000 人以上が 0 団体)へ 50 万円(前年 40 万円で 25%増)を交付した。

項 目	令和 3 年度			令和 2 年度	令和元年度 (平成 31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
盛岡 MICE 助成金交付団体(団体)	2	0	—	2	22
盛岡 MICE 助成金交付金額(万円)	50	10	25%	40	1,405
参加者数(人)	550	107	24%	443	14,799

公3：自主企画事業の展開などによる観光・文化の振興事業

1 盛岡市観光文化交流センター（プラザおでって）運営事業

盛岡市観光文化交流センターにおいて自主企画事業を展開した。

(1) 自主企画事業実施状況

No.	行事名	開催日	入場者数	内容
1	おでって短編シアター Vol.3「立川只四楼ふるさと独演会」	11月23日	78人	盛岡市出身の落語家立川只四楼氏（二つ目）の落語独演会
2	おでってミュージックシアターVol.3「ラジオで聴いたフォークソングたち」	11月14日	78人	70～80年代の人気ラジオ番組をモチーフにした地元ミュージシャンのフォークソングライブ

2 もりおか啄木・賢治青春館運営事業

もりおか啄木・賢治青春館の2階展示ホールにおいて自主企画事業を実施した。

(1) 自主企画事業実施状況

【企画展】

No.	催事名	開催日	入場者数	内容
1	第90回企画展「杉本さやか展 窓外の街」	4月23日～7月11日	2,135人	盛岡市在住の画家杉本さやか氏の絵画展示
2	第91回企画展「幾何学が拓く新しい折紙の世界展」	7月22日～10月10日 *8/24～9/17 臨時休館	2,981人	折紙アートの第一人者・三谷純氏の作品展示
3	第92回企画展「穀蔵力展風のコレスポンダンス」	10月22日～1月10日	2,942人	盛岡市在住の版画家穀蔵力氏の版画展示
4	第93回企画展「佐藤紫雲」展	1月28日～4月10日	1,103人	紫波町在住の書家佐藤紫雲氏の作品展示

【コンサート】

No.	催事名	開催日	入場者数	内容
1	「ラトゥール・カルテットコンサート～アンダンテ・カンタービレな気分～」	10月30日	40人	盛岡市を中心に活動している弦楽四重奏団によるコンサート【演奏：山口あうい、馬場雅美、熊谷啓幸、三浦祥子】

3 もりおか歴史文化館運営事業

もりおか歴史文化館は、当協会と株式会社乃村工藝社が共同（もりおか歴史文化館活性化グループ）で運営を行っており、当協会では観光アテンダントを派遣し、「まちなか情報センター」及び「ミュージアムショップ」の案内機能を広く観光案内分野に活用した。また、南部藩をコンセプトとした盛岡市の歴史に触れる街歩き観光の拠点として、盛岡ふるさとガイドの効果的な運用を行いながら観光の振興に努めた。

令和 3 年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う岩手県独自の緊急事態宣言により臨時休館があったが、令和 2 年度よりも入館者数は増加した。

項 目	令和 3 年度			令和 2 年度	令和元年度 (平成 31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
入館者数 (人)	69,703	4,754	7.3%	64,949	216,999

※開館日：平成 23 年 7 月 1 日

※令和 2 年 2 月 16 日入館者 200 万人達成

※開館以来の入館者総 2,346,360 人

※令和 3 年度は岩手県独自の緊急事態宣言に伴い 8/24～9/19 まで臨時休館

収1：施設の管理運営事業

1 盛岡市観光文化交流センター（プラザおでって）管理運営事業

盛岡市観光文化交流センター及びおでって共用施設部分について、指定管理者として管理運営を行った。

(1) おでって全体の利用状況

項 目	令和3年度			令和2年度	令和元年度 (平成31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
盛岡市観光文化交流センター（人）	26,983	▲12,356	▲31.4%	39,339	104,838
商業店舗(まちの驛もりおか)（人）	52,208	▲3,792	▲6.7%	56,000	68,477
もりおか女性センター（人）	19,324	613	3.3%	18,711	26,484
盛岡てがみ館（人）	3,564	756	26.9%	2,808	5,886
計（人）	102,079	▲14,779	▲12.6%	116,858	205,685

※盛岡市観光文化交流センターの利用者数は2階観光文化情報プラザの訪問者数を含む。

(2) 観光文化情報プラザの運営

盛岡市観光文化交流センター内の観光文化情報プラザにおいて、国内外の観光客及び修学旅行生等に盛岡市及び盛岡広域の観光情報の提供、街歩き観光の魅力を紹介したほか観光相談に対応するなど総合的な観光案内を行った。

項 目	令和3年度			令和2年度	令和元年度 (平成31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
来訪者数（人）	15,729	2,593	19.7%	13,136	36,327
問合せ件数（件）	11,623	4,943	74%	6,680	20,144

※令和3年度は岩手緊急事態宣言に伴い8/24～新規貸出休止、9/16～窓口休止、電話対応のみ。～9/1/新規貸出中止。（岩手緊急事態宣言解除に伴い9/17～窓口再開。9/20～新規貸出再開。）

(3) 盛岡市観光文化交流センターの利用状況

項 目	令和3年度			令和2年度	令和元年度 (平成31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
おでってホール（人）	6,300	1,673	36.2%	4,627	18,493
ギャラリーおでって（人）	6,212	▲554	▲8.2%	6,766	11,557
大会議室（人）	5,149	213	4.3%	4,936	11,872
特別会議室（人）	2,071	▲110	▲5%	2,181	4,089
第1会議室（人）	1,751	189	12.1%	1,562	3,865
第2会議室（人）	906	368	68.4%	538	1,506
リハーサル室（人）	2,275	797	53.9%	1,478	3,865
おでって広場（人）	2,319	▲1,796	▲43.6%	4,115	13,264
計（人）	26,983	780	3%	26,203	68,511

※令和3年度は岩手緊急事態宣言に伴い8/24～新規貸出休止、9/16～窓口休止、電話対応のみ。～9/1/新規貸出中止。（岩手緊急事態宣言解除に伴い9/17～窓口再開。9/20～新規貸出再開。）

2 もりおか啄木・賢治青春館管理運営事業

(1) 利用状況

国の重要文化財に指定されている同館の管理運営を行った。

項 目	令和3年度			令和2年度	令和元年度 (平成31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
入館者数 (人)	35,446	8,862	33.3%	26,584	40,112
うち修学旅行 (校)	103	▲6	▲5.5%	109	159
〃 (人)	1,933	▲186	▲8.8%	2,119	3,220
館内案内 (団体)	12	▲15	▲55.6%	27	50
〃 (人)	174	▲384	▲68.8%	558	860

※令和3年度は岩手緊急事態宣言に伴い8/24～9/17 休館

3 もりおか啄木・賢治青春館喫茶事業

国の重要文化財に指定されている同館を訪れた観光客等の懇談、休憩所として、同館の1階において喫茶コーナーの運営を行ったほか、石川啄木、宮沢賢治に関する書籍や絵葉書、観光グッズ等を販売した。

※令和3年度は岩手緊急事態宣言に伴い8/24～9/17 休館

収2：収益に関する事業

1 観光グッズ販売事業

盛岡市観光交流センター内の観光文化情報プラザ等において、四季折々の盛岡の風景と祭りをデザインした名刺台紙、絵葉書等を販売し、盛岡の魅力を広く紹介した。

2 ホテル旅館宿泊斡旋事業

観光客の利便性を図るため観光文化情報プラザにおいて、ホテル、旅館の紹介を行った。

項 目	令和3年度			令和2年度	令和元年度 (平成31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
ホテル・旅館予約件数 (件)	1	1	皆増	0	2

3 プレイガイド事業

コンサート、観劇チケットの販売及びチケット印刷業務を行い市民の文化活動を支援した。

項 目	令和3年度			令和2年度	令和元年度 (平成31)
	実績	前年度比較増減		実績	実績
コンピューターチケットシステム取扱件数 (件)	0	▲4	皆減	4	26
〃 (枚)	0	▲3	皆減	3	45
その他委託チケット販売件数(件)	83	30	56.6%	53	280
〃 (枚)	4,110	3,149	327.7%	961	1,486

4 接遇研修事業

賛助会員等を対象に、地域における観光振興及びおもてなしマナーの向上を図るこ

とを目的として開催した。

日時 令和 4 年 2 月 16 日 (水) 13 時 30 分～15 時 30 分

会場 プラザおでって 3 階「おでってホール」

内容 第 1 部 インバウンドセミナー

「なして外国人観光客は日本・岩手・盛岡さ来るの？」

《時間》13 時 30 分～15 時(90 分)

《講師》畑山 篤氏 (株式会社テレビ岩手常務取締役)

第 2 部 マナー研修会

「プロのホテルマンが教えるとおっさのマナー」

《時間》15 時～15 時 30 分 (30 分)

《講師》工藤敏納 氏 (ホテルメトロポリタン盛岡・(公財)盛岡観光コンベンション協会誘客支援グループ室長)

参加者数

項 目	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度 (平成 31)
	実績	実績	実績
延べ参加者数 (人)	110	54	155
うち第 1 部 (人)	54	43	91
うち第 2 部 (人)	56	11	64

5 観光カレンダー作製・配付事業

令和 3 年度は 1, 600 部作成し、賛助会員や関係団体に配布したほか情報プラザを含む市内 12 か所に委託販売を依頼し、販売部数は 263 部であった。

6 推せんの店標識貸与事業

賛助会員については、当協会の事業活動に賛同いただける個人・法人から会費を通じて活動の支援をいただいている。また、コロナ禍の中、当協会の賛助会員の経営基盤の安定化に資するため、企業・団体組合・個人事業者 314 件のうち、自治体等を除く 306 件について賛助会費の 30%を減免した。

賛助会員の飲食、土産物産、宿泊施設等の店舗の中から「推せんの店」として認定したほか、推せんの店マップによって訪問客が安心して利用できる店舗の普及、宣伝に努めた。

項 目	令和 3 年度		令和 2 年度	令和元年度 (平成 31)
	実績	前年度比較増減	実績	実績
賛助会員数 (人)	314	▲ 8 ▲ 2.5%	322	337
賛助会費 (円)	10, 548, 700	2, 689, 200 34.2%	7, 859, 500	15, 765, 000
推せんの店店舗数 (店)	108	▲ 3 ▲ 2.7%	111	115

7 その他 (レンタサイクル) 事業

市街地観光を推進するため観光客や修学旅行生向けにレンタサイクル事業 (10 台) を展開した。

項 目	令和 3 年度		令和 2 年度	令和元年度 (平成 31)
	実績	前年度比較増減	実績	実績
利用件数 (件)	65	▲16 ▲19.8	81	154
利用台数 (台)	106	▲33 ▲23.7	139	287

その他

(1) 新型コロナ対策関連事業

ア 賛助会費の 30%減免 (収 2-6 推薦の店標識貸与事業 併載)

コロナ禍の中、当協会の賛助会員の経営基盤の安定化に資するため、企業・団体組合・個人事業者 314 件のうち、自治体等を除く 306 件について賛助会費の 30%を減免した。

イ トラベルイヤホンの活用 (公 1-2- (2) 観光ボランティア事業 併載)

密にならずに旅行者をガイドできるトラベルイヤホンを活用 (330 台購入) し、コロナ禍における学校、旅行代理店、観光客へ安全対策等の用意があることを宣伝した。

ウ おでっってお弁当マルシェ (公 1-3- (4) ウその他観光事業 併載)

新型コロナウイルス感染症感染拡大状況下、市内の事業者を募り、おでって広場において「おでっってお弁当マルシェ」とし、広場スペースおよびテントを無償にて貸し出すことにより、お弁当のテイクアウト商品販売により、食堂営業自粛により困窮する飲食店の救済と観光客および市民の利便促進につとめた。

期間 令和 3 年 6 月 1 日～30 日のうち週日 (21 日間) 販売数 1, 207 個

事業報告の附属明細書

令和 3 年度事業報告の附属明細書について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項はない。